

平坦地における農業者の確保・育成

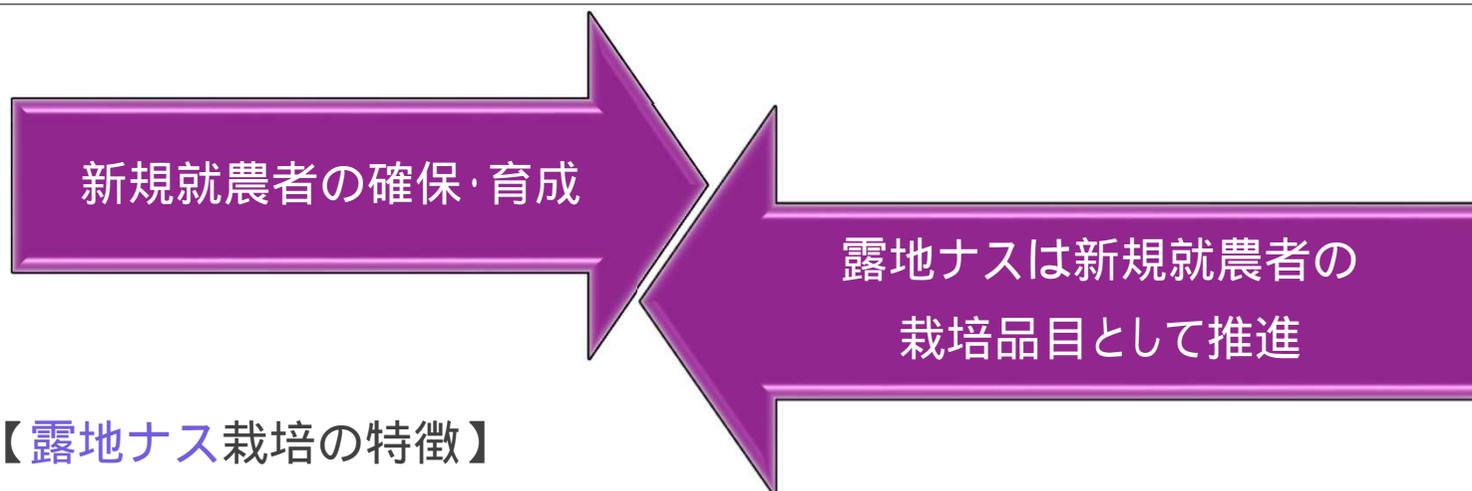
～ 野菜経営モデルを軸として～

計画年度：平成30～32年(令和2年)

藤岡地区農業指導センター

課題設定の背景及び理由

1 基盤となる品目：露地ナス



【露地ナス栽培の特徴】

初期投資が比較的少ない

6月～11月まで長期の収入が確保できる

栽培経験の少ない人でも比較的栽培が容易

選果場出荷・手詰め出荷など、経営状況に応じた出荷方法が選べる

新規栽培者を対象とした現地研修会を栽培期間中毎月開催している

課題設定の背景及び理由

2 経営を発展させていくうえでの問題点



【露地ナシ栽培の問題点】

収穫時期の夏秋に労力が集中

労力が確保（家族労働・雇用）できない場合、大規模化が難しい

大規模化しない場合、露地ナシだけの経営では、認定農業者の目標所得

である400万円への到達が困難

補完作物の導入が不可欠だが、品目選定が不十分

地域で自信をもって勧められる複合経営モデルがない

主な推進課題と解決手法

1 関係機関との連携強化

- 支援対象：藤岡市、高崎市(新町・吉井町)、JAたのふじ、各市農業委員会

2 目標所得別の野菜経営モデルの提示

- 支援対象：JAたのふじ、藤岡市、高崎市(新町・吉井町)

3 露地なす産地の強化

- 支援対象：JAナス生産部会

到達目標(目標年次の姿)

1 関係機関
との連携強化

2 目標所得
別の野菜経営
モデルの提示

3 露地ナス
産地の強化

	合意形成累計	野菜経営モデル提示数	露地ナス出荷量
基準年 (H29)	-	-	1,523t
H32(R2)	2市	4モデル	1,670t

活動経過及び結果

新規就農者

認定農業者

就農

経営拡大

経営安定

活動経過及び結果

新規就農者

認定農業者

就農相談

- ▶ 研修先
- ▶ 農地確保
機械装備
- ▶ 販売先
- ▶ Etc.

就農

- ▶ 現地指導
- ▶ 講習会
- ▶ 組織加入
- ▶ Etc.

経営拡大

- ▶ 個人の適性・労力に
合った経営スタイル

経営安定

露地大規模化

Or

施設複合化

露地複合化

露地ナス+ α

露地ナス
5~10a

α = カキナ
 α = 上州ネギ
 α = カキナ+カリフラワー
 α =

活動経過及び結果

野菜経営モデル の考え方

- リアルで成功している先輩たちの事例から学ぶ

150万円モデル

- 新規就農者がすぐに取り組める露地モデル

250万円モデル

- 施設園芸に興味あり、資金投資可能な施設モデル

200万円モデル

- 少しの雇用と装備を追加する露地モデル

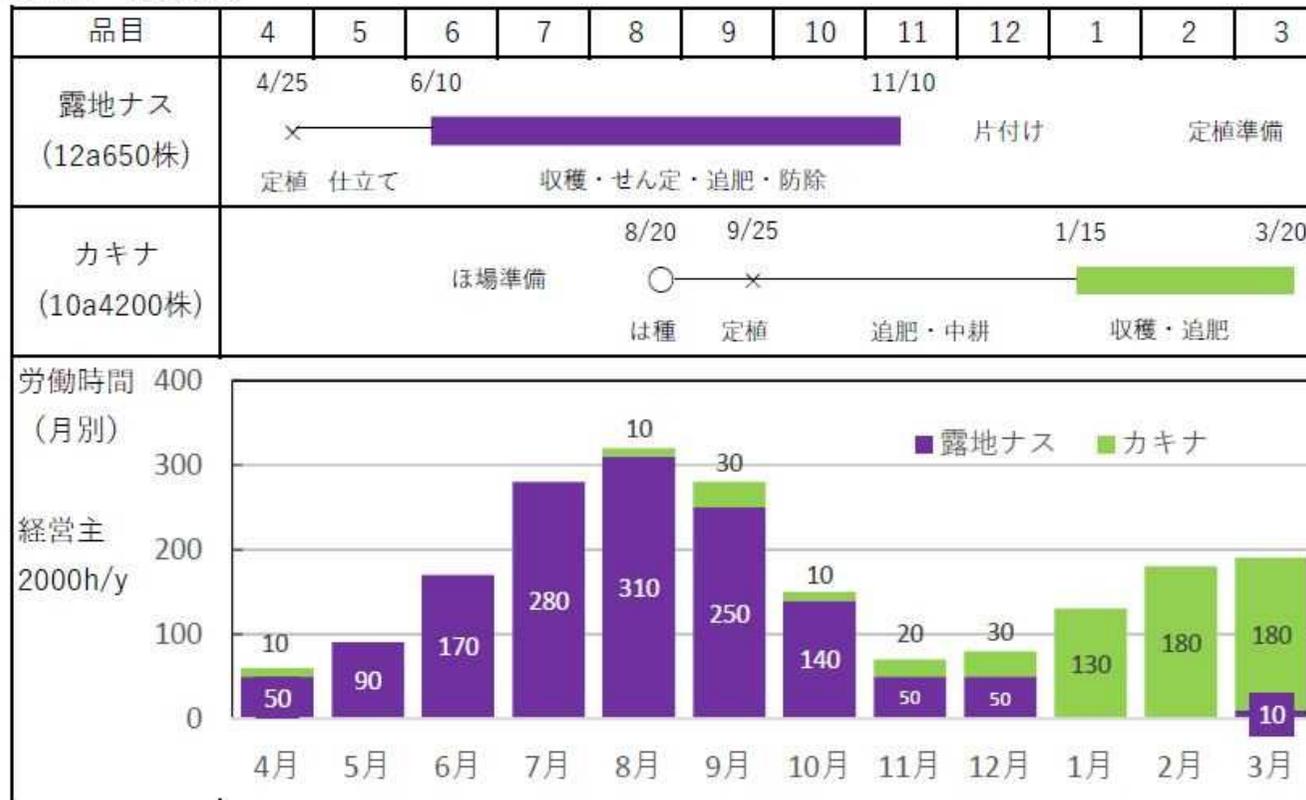
400万円モデル

- 重装備施設、労働力確保可能な重装備施設モデル

モデル

150万円モデル: 露地ナス(12a)+カキナ(10a)

栽培暦・労働時間



モデル

150万円モデル: 露地ナス(12a)+カキナ(10a)

目標収量・A品率・売上げ

	目標収量	目標A品率	目標売上	目標所得
露地ナス12a	10,000kg	AM60%	2,320 千円	1,285 千円
カキナ10a	1,500kg	A80%	330 千円	215 千円
合計			2,650 千円	1,500 千円

経営収支など

支出の部			収入の部		
費目	金額		費目	金額	
品目	露地ナス12a	カキナ10a	品目	露地ナス12a	カキナ10a
資材費	335 千円	35 千円	売上	2,320 千円	330 千円
出荷経費	700 千円	80 千円	収支	+1,285 千円	+215 千円
支出計	1,035 千円	115 千円	所得率	55%	65%

経営に必要な必要最小限の資本装備

農地40a以上（露地ナス15a※+カキナ10a+予備15a）、中古軽トラ、管理機、
中古トラクタ（18ps以上）、マルチャー、動力噴霧機、タンク、刈り払い機、V字支柱、
防風ネット、台車、収穫用コンテナ、芽切り鋏、テープナー、バッグシーラー

※栽植面積は12aだが、必要面積は15a。

など

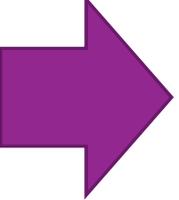
残された課題と今後の対応

- ▶ 提示したモデルを実際の就農相談へ活用し、実情や要望に応じ修正していく。
- ▶ 今年度は【250万円モデル】露地ナス(10a)+促成イチゴ(4a+1a)を提示予定。
- ▶ R2年度は【400万円モデル】露地ナス(10a)+促成トマト長期(10a)を提示予定。



モデル提示予定
「促成イチゴ」

- 最も重要な育苗において管理が行き届かず、収量が少ない事例も散見
- 収量確保のための様々な技術的課題への解決案も併せて提案する必要性



イチゴの技術向上
および
生産振興の取組を
重点化

イチゴ収量確保に向けた技術的支援

▶ 平坦地育苗ハウス重点個別巡回

対象：平坦地育苗農家47戸

時期：6月中旬、7月下旬



イチゴ栽培の
技術向上に
よる経営の
安定

野菜経営
モデル

平坦地にお
ける農業者
の確保・育成



▶ いちごステップアップ講座

対象：若手生産者、
関心のある農家

内容：収量確保のための
育苗管理、病虫害防除、
天敵利用、環境制御技
術、先進地視察